

すわ 市議会だより

発行／諏訪市議会 編集／議会だより編集委員会 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 TEL0266-52-4141

諏訪市ホームページ <http://www.city.suwa.lg.jp>

◎今号から議会だよりは横書きに変わりました。



東京都台東区議会議員の皆さんと

12月定例市議会……………2P
代表質問(2議員)……………5Pから
議案・請願・陳情審議結果……………11P

常任委員会報告、議員提出議案…3、4P
一般質問(11議員)……………6Pから
市議会解説コーナー、編集後記……………12P

平成24年 年頭ご挨拶

諏訪市議会 議長 小林 佐敏

早いもので新年を迎え、早1ヶ月が経過いたしました。常日頃から市議会に対する温かいご支援と、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

去年は、震災・災害により改めて絆や地域力の大切さを再認識させられた年でした。本年は厳しい経済情勢の中、復興財源捻出のため地方自治にも大きな影響が出始めておりますが、市民の皆様が未来に夢と希望を抱き、生活の安定とさらなる飛躍と発展を目指して、自らの役目を課題にし、全力を傾けてまいります。

市民の皆様のご期待に応えられるよう温かいご指導をよろしくお願い申し上げます。

諏訪市議会 副議長 横山 真

平成24年も幕を開け、早いもので1ヶ月ほど経ちましたが、本年は「希望の年」と位置づけて、市民の「絆」をもって、諏訪市が「一丸」となり、更なる市政発展のために、私たち議員も市民福祉の向上を目指し、積極的に議員活動に取り組んで参りたいと思います。

また、今回の議会だよりから更に読みやすくなるよう横書きに改善してみました。今後も、市民の皆さんに関心を持っていただけるよう努めて参りますので、市民の皆さんの忌憚のないご意見をお寄せいただき、今年も相変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

12月定例市議会

平成23年第8回（12月）定例会が、11月28日から12月14日までの会期で行われました。

今定例会には、選任2件、選挙2件、報告3件、議案11件、諮問1件が提出され、すべて選任、選挙、可決、同意されました。

<12月定例会日程>

11月 28日	本会議（選任・選挙・議案上程・説明・陳情付託） （一部議案については委員会付託から採決）
12月 2日	本会議（議案質疑、付託）
6日	本会議（代表質問・一般質問）
7日	本会議（一般質問）
9日	常任委員会
14日	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

丸山健一議員のご逝去に伴い、藤森守氏が繰上当選となりました。

現職だった丸山健一議員が昨年10月18日にご逝去され議員定数に欠員が生じたため、昨年4月24日市議会議員選挙で同点であった藤森守氏が繰上当選となりました。
議席番号は10番、所属グループは日本共産党諏訪市議員団です。



議会人事構成（平成23年11月28日現在）

丸山健一議員のご逝去、藤森守議員の繰上当選に伴い、議会人事構成が一部再編成されました。

選任第3号 諏訪市議会常任委員会委員の選任について

社会文教委員会委員に藤森守議員が選任され、社会文教委員会の構成が決定しました。

（⇒12P市議会解説コーナー参照）

▲社会文教委員会（◎委員長、○副委員長）

◎宮下 和昭	○廻本多都子
平林 治行	伊藤 浩平
藤森 守	山田 一治
	増澤 義治

選挙第10号 諏訪市・茅野市衛生施設組合議会議員選挙について

宮下和昭議員が選ばれ、諏訪市・茅野市衛生施設組合議会議員の構成が決定しました。

宮下 和昭	平林 治行
増澤 義治	廻本多都子

選任第4号 諏訪市議会議会運営委員会委員の選任について

金子喜彦議員が選任され、議会運営委員会の構成が決定しました。（⇒12P市議会解説コーナー参照）

（◎委員長、○副委員長）

◎山田 一治	○金子 喜彦
宮下 和昭	奥野 清
水野 政利	廻本多都子

選挙第11号 湖周行政事務組合議会議員選挙について

奥野清議員が選ばれ、湖周行政事務組合議会議員の構成が決定しました。

小林 佐敏	有賀ゆかり
井上 登	奥野 清

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて、糸野正子氏の推薦に同意しました。

人権擁護委員とは？

国民の基本的な人権が侵犯されることのないよう監視・救済をし、人権思想の普及に努めることを使命とする。法務大臣が市町村長の推薦した者の中から人選をするが、推薦をする際に市町村長は議会の意見を聞いて推薦しなければならない。

議案審査 総務産業委員会

第8回（12月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

条例一部改正1件、新設2件、補正予算一般会計1件、特別会計2件可決。

陳情2件不採択。

◎諏訪市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

平成23年度人事院勧告を受けての改正。主な改正点は一般職の中高齢層の本給0.23%引き下げ改定等。引き下げそのものに反対、人事院勧告に従うことに賛成等の討論があり、賛成多数可決。

◎諏訪市常勤特別職の職員等の給与の減額に関する条例を定めるについて

下水道使用料の賦課漏れを重く受け止め、市長と副市長の平成24年1月の給与を10%ずつ減額するもの。全会一致可決。

◎障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を定めるについて

この法律の施行により、諏訪市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び諏訪市消防団員等公務災害補償条例の一部改正。全会一致可決。

◎平成23年度 諏訪市一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算の総額から各3,019万3千円を減額。歳入では地方交付税9,154万2千円の増額補正。歳出では一般会計の一般人件費の補正等。他、商工費の商工業利子・保証料補給金に2,180万円、消防費の消防団人件費2,186万6千円増額補正。公債費の市債償還元金440万1千円の増額及び市債償還利子979万3千円の減額。賛成多数可決。

◎平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

一般人件費の補正で、給与改定及び人事異動による103万7千円の増額補正。全会一致可決。

◎平成23年度 諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）

一般管理費の給与改定と人事異動による補正と一般会計からの場長人件費分繰入金と市場使用料の減額補正。賛成多数可決。

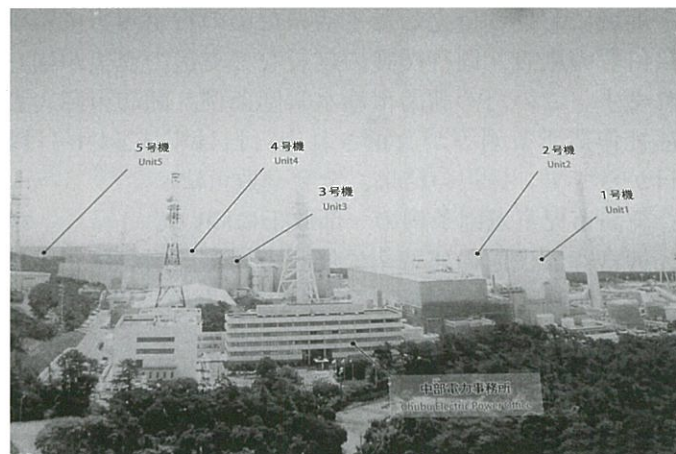
◎浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の採択を求める陳情書（継続審査）

原発を停止した場合の経済への影響や電力供給が不安、地元御前崎市は廃炉より国の安全対策等の決断を求めている等で不採択と、中部電力は原発の依存度が

低いので、日本全体の脱原発は浜岡から始めなければならない、廃炉を決める以上の安全対策はない等の採択の討論があり、不採択と採択が同数のため、委員長表決で不採択。その主な理由は、エネルギー安全保障は、我が国の存亡に関わる重大事であり、一つのイデオロギーだけで突っ走るのは危険である等。

◎「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情書

女性の人権にとって重大な問題で趣旨採択、57条も選択できることから不採択、白色申告者は弱者であり採択、等の討論があり、採決の結果、不採択。



停止中の浜岡原子力発電所

各常任委員会行政視察報告

総務産業委員会行政視察報告

◇日程 平成23年10月24日（月）から10月26日（水）

◇視察場所 高知県高岡郡^{ゆすはらちょう}梶原町、
愛媛県松山市

◇視察内容

- ・自然エネルギー等を活用したまちづくりについて
- ・温泉施設を中心とした観光振興について

社会文教委員会行政視察報告

◇日程 平成23年10月17日（月）から10月19日（水）

◇視察場所 福岡県福岡市、太宰府市

- ◇視察内容
- ・リハビリ施設について
 - ・不登校対策について

議案審査 社 会 文 教 委 員 会

第8回（12月）定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

平成23年度一般会計補正予算、公の施設の指定管理者の指定＝賛成多数可決 国保補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算＝全会一致可決

◎障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を定めるについて

内容は、平成25年8月までに抜本的な障害者施策を定めた障害者総合福祉法（仮称）が制定されるまでの間、障害者の生活支援をするために必要な事項を定めたものです。障害者自立支援法、児童福祉法などが一部改正され、利用者負担が、応益負担から応能負担に変わります。障害者に関する定義規定が見直され障害者に発達障害者を含むことになります。

地域における自立した生活のための特定障害者特別給付費の創設、同行援護の創設など支援の充実が図られます。このため諏訪市清水学園条例、諏訪市障害者福祉作業所条例等が改正され施行日は平成24年4月1日からです。採択の結果、全会一致可決。

◎諏訪市児童遊園条例の一部改正について

神宮寺公民館の建替えに伴って児童遊園を廃止するため、児童遊園の名称及び位置を定めた別表中の神宮寺児童遊園に係る部分を削除するもので、全会一致可決。

◎諏訪市温泉・温水利用型健康運動施設条例の一部改正について

すわっこランドを来年度より指定管理者が行うことが出来るようにするため、関連する条例を改正するものです。討論では反対もありましたが、賛成多数可決。

◎公の施設の指定管理者の指定について

すわっこランドを「（株）やまびこスケートの森」に、清水学園を現行の「この街福祉会」に指定するものです。反対もありましたが、賛成多数可決。

◎平成23年度諏訪市一般会計補正予算（第5号）について

民生費では、1億1,394万9千円を減額補正するものです。

主な内訳は、・国保特別会計への繰出金・要援護者台帳システム化事業（県補助事業）・小規模多機能型居宅介護事業所「集皆所ひだまり」整備補助金3千万円・後期高齢者医療特別会計から後期高齢者医療広域連合へ支払う一般会計繰出金304万1千円・児童虐待防止対策のための講習会負担金（安心こども基金事業）・こなみ保育園の書架書籍購入費等（安心こども基金事業）139万6千円・豊田保育園現園舎の解体工事費【全額を繰越明許】2千万円・子ども手当支給システム改修費（安心こども基金事業）・子ども手当費

（支給月額の変更に伴い当初予算を減額するもの）1億7,285万3千円の減額。

教育費では、旧東洋バルヴ諏訪工場木造建物の解体に伴う諸調査経費50万円を補正するものです。討論では反対もありましたが、賛成多数可決。

◎平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

内容は、歳入歳出予算の総額に1億5,716万6千円を追加するものです。質疑のうえ、全会一致可決。

◎平成23年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

内容は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ304万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億454万7千円とするものです。質疑のうえ、全会一致可決。



指定管理に移行するすわっこランド

議員提出議案（意見書関係）

◇循環型社会形成推進交付金の十分な予算確保を求める意見書・・・（全会一致）可決

湖周2市1町では、ごみ処理を広域的に共同で行うことにより、ごみ処理に関する施策の円滑な実施を図り、循環型社会を構築するため、新たなごみ処理施設の整備を計画しています。この事業の財源として、国からの循環型社会形成推進交付金の充当を予定していますが、内示額は要望額の33%にとどまるものとなっています。

ごみ処理事業は、住民の生活に最も密着した事業であり、計画的な事業執行が行えるよう、循環型社会形成推進交付金の十分な予算の確保を要望する意見書を国等に提出しました。

代表質問

代表質問は、各グループの政策上の問題などについて質問するものです。

掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、代表者の文責によるものです。



第五次総合計画策定骨子と 基本構想・計画について

新風会 奥野 清

問 第五次総合計画策定に当って特記する構想、事業は。

答 市民代表、各団体代表で組織する策定委員会で議論の最中。3月末までに意見をまとめ発表する。大筋では、学校・保育園・体育館の建て替えと耐震、生活基盤の災害対策、温泉リハビリ施設の誘致、湖周ごみ処理施設整備、都市計画道路見直し、国道諏訪バイパス建設促進、駅西口周辺再考、産業連携推進、近隣アジア諸国との友好等。具体的取り組みは、実施計画の中で精査して臨む。

問 第五次総合計画の構想、基本計画案策定に当って、市民の声はどう反映されているか。

答 昨年来より、市民アンケート、市民ワークショップ、小・中・高校生の意見、市長と語る夕べ、団体懇談会、市民満足度調査を実施、現在も広く意見を集めている最中、これらを汲み上げ反映している。最終的には3月末までに提示する。

問 産業振興への重点取り組みは。

答 農業は、若手農業者の育成・耕作放棄地解消・鳥獣被害対策。林業は、県と連携し森林間伐。漁業は組合との連携による資源の振興。工業は、H24年から始まる振興ビジョンとリンクした振興。商業は、市街地商店街振興、郊外店街の振興。観光は、新たな観光メニュー作成、東南アジア等外国人客の誘客。また、産業間連携、企業間連携、産・学・官との連携を推進。

問 都市計画道路の構想は。

答 費用便益比の高位から整備。ただ、財政的に極めて厳しい状況、プログラムの見直しをしていく。現在「神戸田辺線」は、老朽化している飯島橋の架け替えも含め、一部整備事業化に向け検討中。

問 国道20号バイパスの構想は。

答 国の計画段階評価実施時期がスタートライン。今後10年間の進捗状況は予想しにくい。着工となって全線開通まで20年を予想。

問 国民健康保険制度の現況と将来像は。

答 市町村国保は、高齢化や高度医療が進み、財政的に

は非常に厳しくなる。今後、県単位の広域化が必要。

問 福祉医療費の窓口無料化は。

答 市単独では出来ない。国や県の動向を見ながら考えていく。

問 諏訪湖浄化、美化への取組は。

答 浄化は、県が浚渫に代わる「4浄化工法」を検討中。美化は近隣市町村と連携して取り組む。

問 循環型社会の構築に向けてのゴミ減量策、不法投棄対策は。

答 一層の3R推進と住民・事業者・行政間の連携、協働の強化。監視パトロールを強化する。

問 下水道事業の進捗と完工は。

答 現在98.6%、H27年度に完工予定。

問 諏訪赤十字病院の位置づけは。

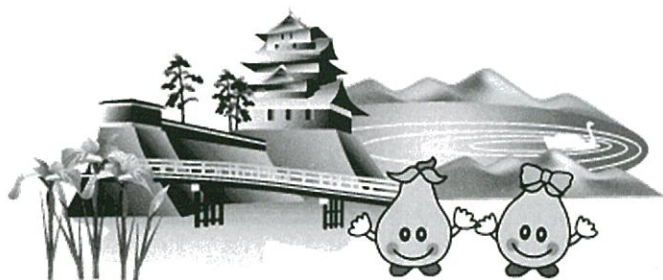
答 当市においては、市民病院の役割を担っている。在院期間13日は日赤の平均値である。

問 東洋バルブ跡地の現在までの買取り状況、今後の取得計画、利用方法は。

答 H22年度末で、1億8,800万円5,000㎡を取得、当初の資金予定で、その他寄附金5億円は見込めない。今年2月より有識者会議で対応策を検討中。跡地の総合的計画は、リハビリセンター誘致を見てから。

問 合併特例法は、既に期限切れだが、今後6市町村の先頭に立って、再考するつもりがあるか。

答 合併を進めようという機運が盛り上がっていない。合併に向け今すぐに動くことは難しい。合併論は、起爆剤的なものとして、今も検討はしている。観光面での広域取り組み、6市町村消防の一元化への取り組みも進めている。これらの広域取り組みの状況をみて、次の段階を考える。財政的には厳しい。





市民負担を増やさない 新年度予算編成を。 ごみ処理は基本の仕事、 市単独で実施を。

日本共産党諏訪市議員団 藤森 守

問 故丸山健一議員のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。3年半の任期を市民福祉の向上と市政発展のため、一生懸命やらせていただきたいと思います。

東日本大震災によって未曾有の被害がもたらされ、不透明な状況下での予算編成となっているが、市民生活を守るため住民負担を増やさない予算編成を求めます。歳入はどう見積もっているか。

答 市民税の個人、法人及び固定資産税で64億円、交付税は28～9億円を見込む。

問 基金現在高と取り扱いは。

答 財政調整基金、減債基金で25億円。取り崩しは考えていない。

問 豊田小学校改築は2年で20億円、豊田保育園で4億7千万円がかかる。住民福祉の予算が減らされては困る。資金手当てはどうか。

答 学校施設整備基金と社会福祉基金の活用と市債の発行で賄う。

問 国民健康保険税1世帯3万円の引き下げを求めます。

答 単年度の赤字となった。引き下げはできない。

問 では、値上げはしないほしい。

答 新年度での値上げはない。

問 生活弱者の交通確保でかりんちゃんバス以外の対策は。

答 高齢者タクシーの利用年齢を75才から70才に引き上げる。介護タクシーは条件緩和をして利用しやすくする。

問 中学校の30人規模学級の取り組みは。

答 県に合わせて新年度2年生まで。再来年は3年生まで行う。

問 湖周3市町ごみ処理は広域ではなく諏訪市単独で主張してきた。湖周行政事務組合の検討状況は。

答 処理方式の検討がされており、現方式のストーカ炉が有力。

問 市民への広報はどうするか。

答 12月に岡谷市で説明会を行う。

問 仮に120トン炉とすれば建設費はいくらか。

答 42億8千万円。

問 国からの補助金はくるのか。他の自治体では申請の3分の1しか来っていない。

答 国に対してお願いしていく。

問 諏訪市に建設するとされた最終処分場の構想は。

答 現時点では白紙。平成27年の稼働に間に合わせる。

問 自治体の基本としてのごみ処理は、目の届きにくい広域ではなく、目の届く範囲で手の平に乗せ、徹底した減量を図りながら市独自で行うべき。最終処分場を持てるなら可能だと思う。



現地建替えが決まった豊田保育園

市政のここが聞きたい 一般質問

市政全般について議員が自由に質問できる一般質問の制度があります。12月定例会では11人の議員が各方面にわたって質問を行いました。掲載の内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。なお本会議の会議録は図書館、市役所ロビー、市議会事務局で閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については会議録をご覧ください。



市長公約への取り組み の実施状況について

森山 広

問 市長公約についてどう考えるのか。また、公約の変更や見直しはあり得るか。

答 公約は市民との約束と考えている。約束を守るのが第一。日々の変化の中で切り替えも必要であり、公約の変更や見直しもありえる。その時には市民にきちん

と説明しないと行けない。

問 公約の合併については。

答 市長任期の1、2期目では合併を進めてきた。しかし、総論賛成各論反対の論議の中で、今は広域的な事を醸成していく中で進めていきたい。

問 公約の一つの総合体育館建設や国際会議場建設に対する考えは。

答 当初は合併を見越した話だったが、現在は市を中心に体育館が欲しいとなっている。非常にお金がかかるのでタイミングがある。ランニングコストを含めて考えないと行けない。箱物は難しい時代で市民の合意も必要。会議場は難しい。

問 4期目の公約の進捗状況と公約の公開は考えているか。

公約に対する市民の提言、提案は取り入れてもらえるのか。

答 4期目の公約は着実に進めている。市として公開は考えていないが基本計画、構想で対応している。水城の界隈（市ホームページ内）等に掲載するなど考えたい。市民の提言・提案はしっかり受け入れていきたい。

- 生涯安心して暮らせる諏訪を！
- ◇健康・福祉・医療の充実
「温泉リハビリセンター」の建設推進
諏訪十字病院等、退院後のリハビリ治療施設
 - ◇産業振興と雇用対策
市の組織の中に産業推進推進室を新設
観光・工業・商業・観光業等との連携強化
諏訪東理工科大学等や諏訪圏外企業との連携
若者が活躍する環境を整備五輪全国大会の開催
雇用拡大のための研修等、労働関係との懇談会開催
 - ◇子育て支援と教育再生
中学生まで医療費無料化
保育園・小中学校の改修・改築の継続実施
地域民間企業と連携し「ものづくり教育」の推進
おもしろ科学実験教室の本格導入
開きとれる、しゃべれる英語教育の大幅拡充
 - ◇地域の賑わい再生のために
駅前賑わい再生のための駅前対策室の恒久化
駅前駐車場・市民会館前駐車場3時間無料化
各商店街の均等な発展
 - ◇高齢者の質的支援
高齢者の質的支援
 - ◇安心・安全のまちづくり
災害予防、地区防災機能の充実・強化
河川の恒久的整備、砂防堤による災害防止
 - ◇自然と調和した快適環境のまちづくり
ゴミの減量と資源のリサイクルの推進
諏訪湖の湖底底質の浄化と水質浄化の推進
諏訪湖高層の雑木整理・火入れによる環境保全
 - ◇行政改革のため
市民の切実な声から出た更なる推進
行政のさらなる広域化と充実
消防組織のデジタル化と広域消防体制の充実
広域観光の推進
6市町村合併の環境整備
広域的連携を深め、住民の理解度の醸成

4期目の市長公約



◎社会保障と税の一体化改革のもとで

- ①子育て支援（保育園行政）
- ②国保問題
- ③障害者支援

廻本 多都子

問 豊田・文出保育園の統廃合はなくなったが、今後市内保育園において統廃合の計画はあるか？また、耐震補強工事日程は？

答 現在統廃合、建て替え計画はない。耐震補強は仮園舎を作って対応していくこともあり、専門委員会の答申を待って工事期間を決定し、統廃合はこどもの人数によってはあり得る。

問 国保税の滞納者は、世情を反映し年々増え続けている。原因は国庫負担が減ってきていることにあります。そのために市民負担が増え、払えない程高くなっています。基金や繰り越し金を使ってさらなる引き下げを求めることとともに、一般会計からの繰り入れと、国に

対して国庫負担金の増を求めていくことは必要でないか。

答 基金も減り、これ以上の引き下げは難しい。一般会計からの繰り入れはしない。

問 障害者の福祉制度が変わり、今までの一律応益負担が応能負担へと変わるが、市民にとって負担は軽減するのか。その中身は？

答 現在230人がサービスを受け、ほとんど90%以上が無償です。ただ額の中身がわからないので、予算は今までより少し市の負担を多くして予算を作成した。



こなみ保育園建設現場



共同浴場温泉料の見直し・活用について 教育環境について

伊藤 浩平

問 地域の共同浴場を運営管理する組合の運営が苦勞していると伺う。温泉料の値下げの考えは。

答 共同温泉は市内に46箇所あり、その様な状況を伺っている。市の温泉事業は精進湯がマイナス要因で、廃止やむなしの声もあるが、まるみつ閉店で増加傾向にある。精進湯の存廃が値下げに影響する。

問 温泉組合の皆さんで協議会等を設置し、地域住民、観光客が入りやすい仕組み、取り組みを考えてみては。

答 温泉利用者、温泉組合の方々を含めた（仮称）市温泉事業検討会を発足させて、精進湯のあり方、共同浴場への支援策、温泉料金、共同浴場の観光面での活用方法等を検討したい。

問 市内小中学校の不登校児童の状況は。

答 不登校人数は減って来ており、県平均より少ない。今年上半期、小中学校で28名である。

問 不登校児対策の施策の効果は。

答 相談事業については相談件数が減っている。中間教室については何人かは学校に復帰できている。きめ細やかな指導、活動をしている。相談事業、中間教室、学校、家庭がうまく連携し、ネットワークを作り、成果が上がっている。この連携を止めない様にしたい。



共同温泉浴場



活力あるまちづくりの 礎となる、駅周辺まち づくりマスタープラン の策定を！

山田 一治

問 JR上諏訪駅周辺まちづくりマスタープランの取り組みと対応について。駅前国道の一部とサンロードの基礎整備（道路拡幅・電柱地中化）がされ外観は整ったものの魅力がない。今回駅西口整備事業を進めるにあたり、上諏訪駅周辺のまちづくりマスタープラン策定の取り組みについての考えは。

答 マスタープランを作るためには、市の財政状況を勘案し、まるみつ跡地の動向が見えたところで考えていきたい。

問 諏訪市将来のまちづくりの礎となるマスタープラン策定を関係団体、JRおよび国、県等と連携をとり積極的に取り組み、駅周辺から順次まちづくり事業を展開するよう切望し提案します。

問 リハビリテーションセンターの取り組みと対応について。①検討委員会の進捗状況②委員会の今後の活動予定。

答 ①委員会発足以来2回開催し、医療行為におけるリハビリテーションの位置づけ、医療制度において施設がどういった部分を司るものかの認識をるところまでに留まっている。②施設内容等諏訪圏域の病床数等の状況変化もあり、各方面から慎重に検討。他施設の視察先、日程は計画中。

問 施設が具備する機能等に係る意見は、市民の皆さんから頂戴する機会を設けたいとのこと。早期実行を。



有効活用が期待される上諏訪駅西口広場

答 平地の新川団地等で対応を検討する。

問 自転車に安全に乗れる地域社会であってほしい。市の自転車が関わった交通事故の状況と対策は。

答 今年自転車と歩行者の人身事故はない。自転車対車の事故は40件発生した。自転車は車両であるとの認識が大事で、市内の小中生をはじめ全市民に啓蒙徹底に努める。

問 自転車は車道走行が原則のルール、市の道路整備の対応はどうか。

答 沖田線車道に専用レーンを設定できないかを検討している。湖畔公園のジョギングロードは、誘導看板を設置して歩行者と自転車の走行を住み分ける社会実験を来春始めたい。



交通誘導看板

ス要因が続いたが、市内企業の海外進出の状況と対策は。

答 大震災の影響による大手メーカーの海外進出に合わせ、市内企業の海外移転も増加傾向にある。国内では、製品情報が取れないなどの状況にあり、国内、海外との住み分けをして、短期的にはデフレの解消、長期的には、企業技術力の強化などが必要。

問 新規産業開発の支援や検討はされているか。

答 諏訪は、微細技術が得意分野であり、医療分野で活用しようと研究会を設立している。開発案件が幾つ



高齢者等の貧困・生活 福祉問題 自転車を安全に乗れる 地域社会の構築について

水野 政利

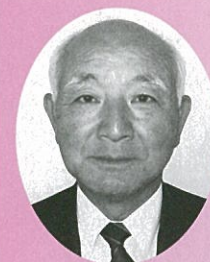
問 少子高齢化の進展は、所得格差の指標の貧困率を高め、高齢者らの貧困、生活福祉問題が深刻だ。市の状況と対策は。

答 正規、非正規雇用の問題があるのでは。深刻になりつつあり、国を挙げた取り組みが必要。

問 生活保護受給者の状況と対策は。

答 今年度は126世帯152人。H22年度比で2世帯4人減少。保護率は0.3%。高齢の単身世帯、母子世帯が増加傾向。対策では非常勤の就労支援員を配置して効果が出ている。H22年度は7人、H23年度は16人が自立し保護世帯から脱却した。

問 低所得者で、住宅費が高比率のために貧困の要因となっている。市営住宅の新たな対策が望まれるが。



産業振興の創造と雇用対策 市内企業の海外進出状況は

宮下 和昭

問 東日本大震災以降、タイの洪水、円高、ヨーロッパの債務危機の拡大など、日本経済を揺るがすマイナ

か進んでいる状況にある。

問 雇用環境と中小企業支援対策従業者数の変化は。

答 工業の製造業のうち4名以上のH17年の従業者数は5,391名、H22年は、5,071名であり、314名減となっている。支援は制度資金の活用、工業アドバイザーによる工場訪問、新規事業開発などを今後前向きに取り組む。

問 市内の産業分析、新規産業をどうみているか。

答 微細技術を活かして、医療テクノ財団の開発案件として、補助人工心臓が保険適用になり、国内販売が

可能となった。産学官連携をより進め今後を期待したい。



残された諏訪の田園地帯（農政に対して）



保育園の現状と中高一貫教育に関して 6、9月議会の質問の進捗状況について

増澤 義治

問 保育園に保健室のようなスペースをすることにより、共働きの人が安心して働ける環境づくりが必要と考えるがいかがか？

答 子どもの具合が悪くなった時は、保護者への連絡を第一に考えている。保健室を設置することは考えていない。病児・病後児保育やファミリーサポート事業等があるので活用してほしい。

問 諏訪清陵高校で中高一貫教育が平成26年度から実施されることが決定されている中、市立の中学の子ども達と成績の格差が生まれるのではないかと、生徒数の減少は。

答 双方とも同じ指導要領で教えるので、基本的には変わらない。学力の格差がうまれないように努力する。

問 東日本大震災からすでに9ヶ月が経ち、多くの情報がメディアから提供されたが、諏訪市の防災に関してどのような計画の見直しや変更を考えているのか？

答 国の方から出て来ている見直しの基準は、津波の関係が主である。地震に関してはまだ出て来っていない。

問 献眼の尊いご奉仕をされた方に、諏訪市長として感謝状を差し上げていただくことは出来ないでしょうか。

答 個人情報等の関係があるので慎重に進めたい。



ファミリーサポートセンター



地域経済の活性化 滞納問題 地域の安全安心

井上 登

問 諏訪地方の企業の業況判断が悪化してきている。特に非製造業のD Iが低い経済対策として、自然エネルギーへの転換への関心が高い太陽光発電への補助金を増額する考えは。

答 国の補助金もあり、現在増額は考えていない。

問 中心市街地活性化策としてさまざま取り組んでいるが、富士見町で実施している様な中小規模の事業者が店舗や事務所を新築、増築した場合の補助金はあるか。

答 現在はありませんが、検討課題とします。

問 税金の滞納に対して預金の差し押さえが増えているが信用を失いローンの一括返済をせまられる事もある。承知をしているか。

答 前提として滞納があり、呼び出しにも応じないためやむを得ず行っているが少額です。

問 岡谷市では徴収猶予制度を行っているが、諏訪市でも条件があれば法律通り行うか。

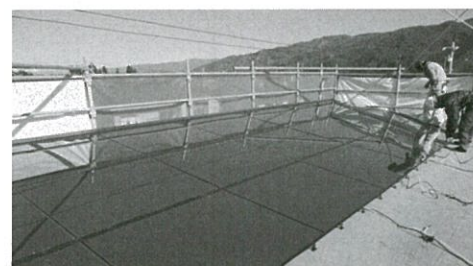
答 条件があれば行うが、分納を勧めている。

問 高齢化が進む中、路地のデコボコにつまずいたり買物カートが引っ掛かったりして転ぶ人もいるが、市全体の見直しは。

答 できる限り見直しをするが市民からの情報が1番と考えている。

問 近年空家が増加している。防犯上や環境衛生、特にネズミなどの被害もある様だが、空家条例を定めている自治体も増えてきている。市の取り組みは。

答 どういう形が良いか検討していく。



ソーラーパネル設置工事



金州新区との友好促進は。 都市計画道路優先見直しは。 市喫煙場所寒さ対策は。

平林 治行

問 中国大連の金州新区との友好促進について市長の思いと目的は。

答 人口は110万人。工業、農業、リゾートなど国家プロジェクトが存在しており、11月に出向いて協定に向け大筋で合意できた。農業、観光、文化等で交流を促進する協定が結べたらと思っている。

問 都市計画道路の優先順位の見直しの検討予定は。

答 計画決定から40年経っている。手が付いていない区間がある。道路の必要性などを検討し、道路整備のプログラムを見直す必要があると考える。今後、都市計画道路の存続、変更、廃止等を見直しをする。

問 幹線予定線内の建物及び農地について。道路が出来る時、無条件で立ち退きするのか。

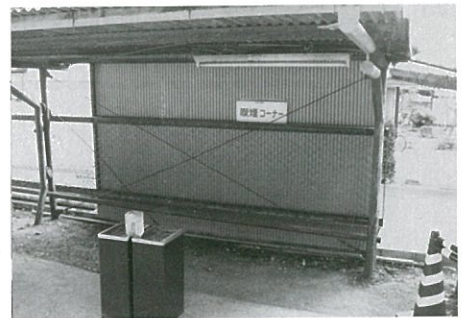
答 無条件で立ち退きしなければならないという事はありません。対象となる方々と、土地の買取価格や家屋の撤去移設等個別に提示し話し合っていく。

問 長野県内小中学生の体力が低下しているが、その対応は。

答 県教育委員会より各学校に体力向上に努めるよう指示があり、その方向で検討していく。

問 市役所の喫煙場所は非常に寒い場所にあるが、冬には風よけだけでも考えられないか。

答 現段階では喫煙者にがまんしてもらう事になる。特段の寒さ対策は考えていない。



市役所喫煙コーナー



1.幼児教育の充実 2.公民館の活用

有賀 ゆかり

問 幼児期の子どもの育ちを家庭、地域、行政、みなで支えることは当然のことであるが、その中核機関として保育所と幼稚園をどうとらえているか。

答 安全に保護することはもとより、情操、社会性などを養う大切な教育の場。

問 子育て新システムでは総合施設へ移行。幼稚園と保育園の制度的な整備への検討を始めるべき。

答 歩み寄って行く方向ではある。国からの通知はまだない。

問 今後の保育園統廃合の方向は？耐震対応とは別にし、一定の基準作りが必要。

答 専門委員会で検討している。

問 専門委員会の位置づけは。

答 答申を最大限尊重することは変わらない。

問 今後の耐震補強の予定。

答 最も耐震数値が低いのは、文出、きみいち、洪崎。仮園舎が必要なので順次すすめる。

問 豊田保育園での障害児優先受け入れを。

答 申込み状況により対応。

問 公民館の料金体系が変わって3年、利用の状況は。

答 稼働率20-40%、登録団体数は減少、利用者は高齢者が多い。

問 法に触れない範囲のものは原則無料でよい。特に子育て支援、高齢者のいきがいという観点では料金をとる必要はない。

答 そうしたい気持ちはあるが、無料にすると別の問題がでてくる。

問 複数施設利用を可能にする共通パス、5つの条例館共通許可などの使いやすさを。

答 改善を検討する。



諏訪市公民館



1、再生可能な自然エネルギーについて 2、6、9月議会質問事項の進捗状況の件

金子 喜彦

問 再生可能な自然エネルギーを積極的に取り組む考えは。

答 第五次総合計画で活用促進をうたっており、策定中の環境基本計画にも盛り込む予定。

問 「新エネルギー推進室」や「地球環境対策室」など人材確保を含め市民が取り組み、伺いやすく、国や県と積極的に協力の窓口を設置しないか。

答 生活環境課を窓口としている。環境政策課、環境対策課という体制で対応したい。

問 補助制度等は。

答 国は住宅用太陽光発電導入支援のほか「緑の分権改革」推進事業補助金、小水力等農業水利施設利用活用促進事業補助金等。県は省エネ設備導入事業補助金等、市は太陽光発電設置補助。

問 耕作放棄地だけでなく、農振地の農地法の規制緩和は出来ないか。農地のままで産業連携をして第6次産業へ結び付ける指導は。

答 農業以外の利用は難しい。農家の規模が小さく安定供給は難しい。国や県の動向を見て検討、対応していく。

問 小水力発電導入で山村活性化を。

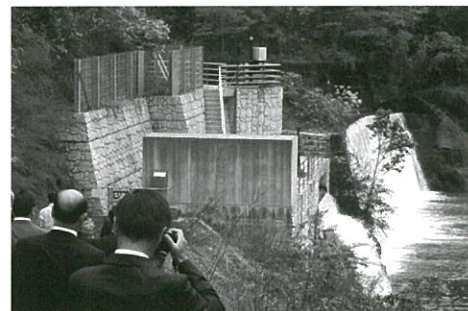
答 諏訪市内の河川流量が少なく適さない。後山や里山も可能性は少ない。

問 搬出間伐用機械、設備を揃えるか。

答 県と諏訪森林組合と相談し進める。

問 消防屯所の建設補助、10坪から20坪へ拡大は。

答 設備、装置があり20坪へ進めている。



ゆずはらちよう
橋原町の小水力発電

12月定例会の提出案件の審議結果

議案番号	件名	審議の結果
選任第3号	諏訪市議会常任委員会委員の選任について	選任
選任第4号	諏訪市議会議会運営委員会委員の選任について	選任
選挙第10号	諏訪市・茅野市衛生施設組合議会議員選挙について	指名推選
選挙第11号	湖周行政事務組合議会議員選挙について	指名推選
議案第44号	諏訪市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決（賛成多数）
議案第45号	諏訪市常勤特別職の職員等の給与の減額に関する条例を定めるについて	可決（全会一致）
議案第46号	障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を定めるについて	可決（全会一致）
議案第47号	諏訪市児童遊園条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案第48号	諏訪市温泉・温水利用型健康運動施設条例の一部改正について	可決（賛成多数）
議案第49号	公の施設の指定管理者の指定について	可決（賛成多数）
議案第50号	公の施設の指定管理者の指定について	可決（賛成多数）
議案第51号	平成23年度諏訪市一般会計補正予算（第5号）	可決（賛成多数）
議案第52号	平成23年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第53号	平成23年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）	可決（賛成多数）
議案第54号	平成23年度諏訪市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）

12月議会で審議された請願・陳情の結果

請願・陳情番号	請願・陳情内容	提出者	採決結果
陳情第7号	浜岡原子力発電所の廃炉を求める意見書の採択を求める陳情書	脱原発諏訪連絡会 共同代表 塩原 俊 藤瀬 恭子 毛利 正道	不採択（多数決）
陳情第8号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情書	諏訪地方民主商工会 婦人部 部長 小野 百合子	不採択（多数決）

～市議会解説コーナー～

○常任委員会とは？

行政の複雑化、専門化に伴い、議案等の審議に万全を期するため、市の仕事を大きく2つの分野に分け、所管事項から提出された議案等について専門的に調査・審査を行うために常設された委員会です。議員はいずれか1つの委員会に属します。（議長を除く。）任期は2年です。

委員会名	委員数	所管事項
そうむさんぎょう 総務産業委員会	7名	総務部、企画部、経済部、建設部、水道局、消防庶務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員会、農業委員会及び他の委員会に属さない事項
しゃかいぶんぎょう 社会文教委員会	7名	市民部、健康福祉部、福祉事務所、教育委員会

○議会運営委員会とは？

議会の適正かつ円滑な運営を図るために設けられた委員会で、会期や議案・陳情の取り扱いなど議会運営全般について事前に協議し、意見調整を図る場として設置されています。委員数は6名（任期は2年）であり、各グループの所属議員数に応じて選出されます。

友好都市の台東区議会議員表敬訪問

昨年12月20日、21日に台東区議会の議長、今期初当選議員10名が諏訪市を表敬訪問し、当市議員との懇談会、懇親会を開催いたしました。互いの市勢、議会についての報告や市内見学をするなど交流を深めました。



議会の傍聴にお出かけください

～3月定例会は
2月20日(月)招集予定です～

詳しい日程については議会事務局までお問い合わせを。（TEL 0266-53-0261）

LCV13チャンネル（アナログ）で、代表質問・一般質問の音声と静止画像による市議会生中継を行っていますのでご覧ください。

また、専用の車いすに座ったまま階段の移動が可能な階段昇降機を導入し、傍聴席も車いすのまま傍聴することが可能なスペースを設けました。ご利用のお申込みやご不明な点がございましたら、諏訪市議会事務局か総務課（52-4141）までお電話ください。陳情等は、招集日の一週間前までにご提出を！

編集後記

12月定例議会も閉会し、新たな年を迎えました。2011年は、3月11日の東日本大震災でかつてない大きな被災を受けました。その後、台風の被災、タイでの大洪水では、日本企業も大きな打撃を受け、経済でも円高が続き市民のみなさんも、暮らし向きが大変だと思います。

しかし、被災された方には、復興に向け自らを奮い立たせ、また全国では、他人事ではないと支援の輪が大きく広がっています。

日本人の温かい心はすばらしいと改めて感じます。

寒さも本番になり、インフルエンザも流行っています。お互いに身体を大事に、新しい希望ある年をつくっていかれたらと思っています。

議会だより編集委員会

委員長 横山 真
副委員長 有賀 ゆかり
委員 宮下 和昭
" 井上 登
" 廻本 多都子